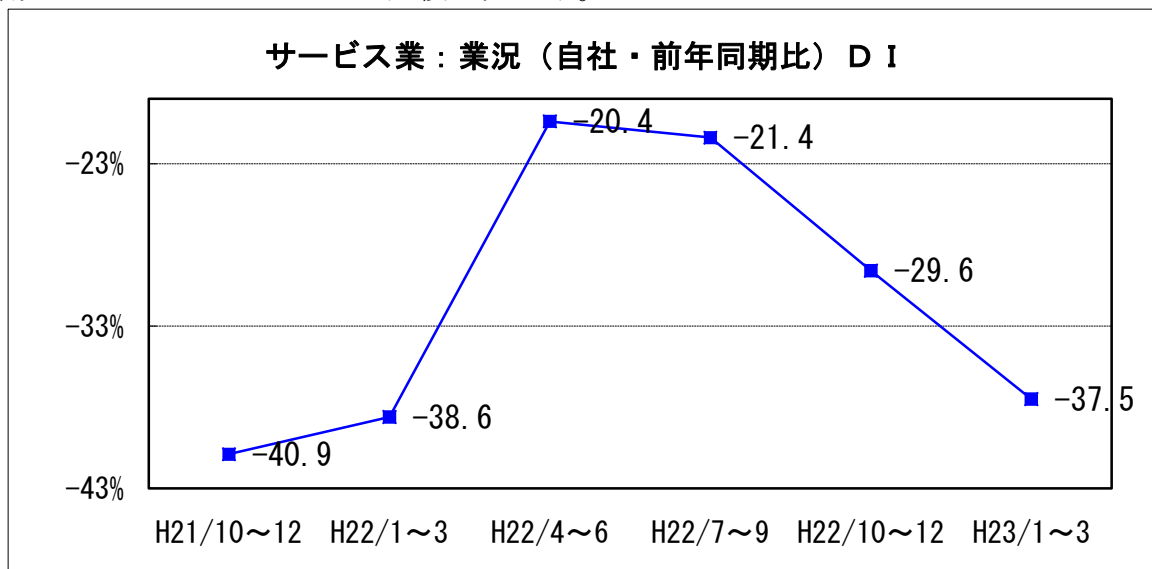


5. サービス業の動向

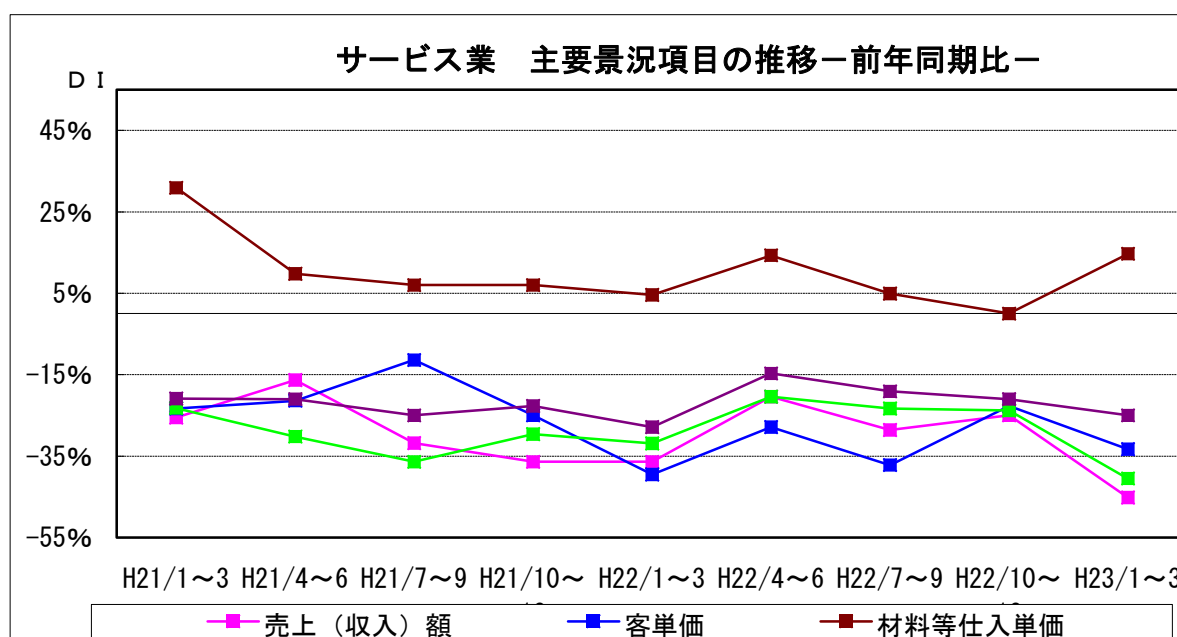
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス37.5。前期マイナス29.6から7.9ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス34.2と回復の見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

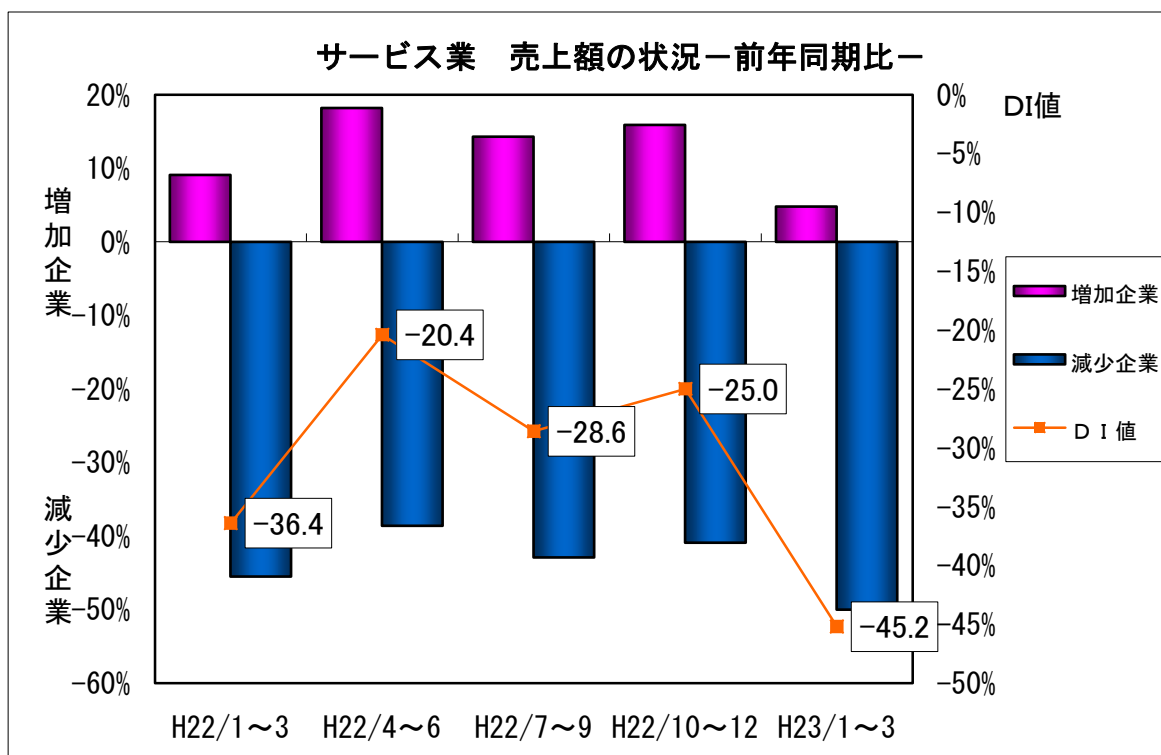
	前々期 (22年7月~9月)	前期(A) (22年10月~12月)	今期(B) (23年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲28.6	▲25.0	▲45.2	▲20.2	▲34.9
客単価	▲37.2	▲22.7	▲33.3	▲10.6	▲23.3
材料等仕入単価	4.9	0.0	▲14.7	▲14.7	30.0
採算(経常利益)	▲23.3	▲23.8	▲40.5	▲16.7	▲34.1
資金繰り	▲19.1	▲21.0	▲25.0	▲4.0	▲22.0



(2) 主要項目の概況

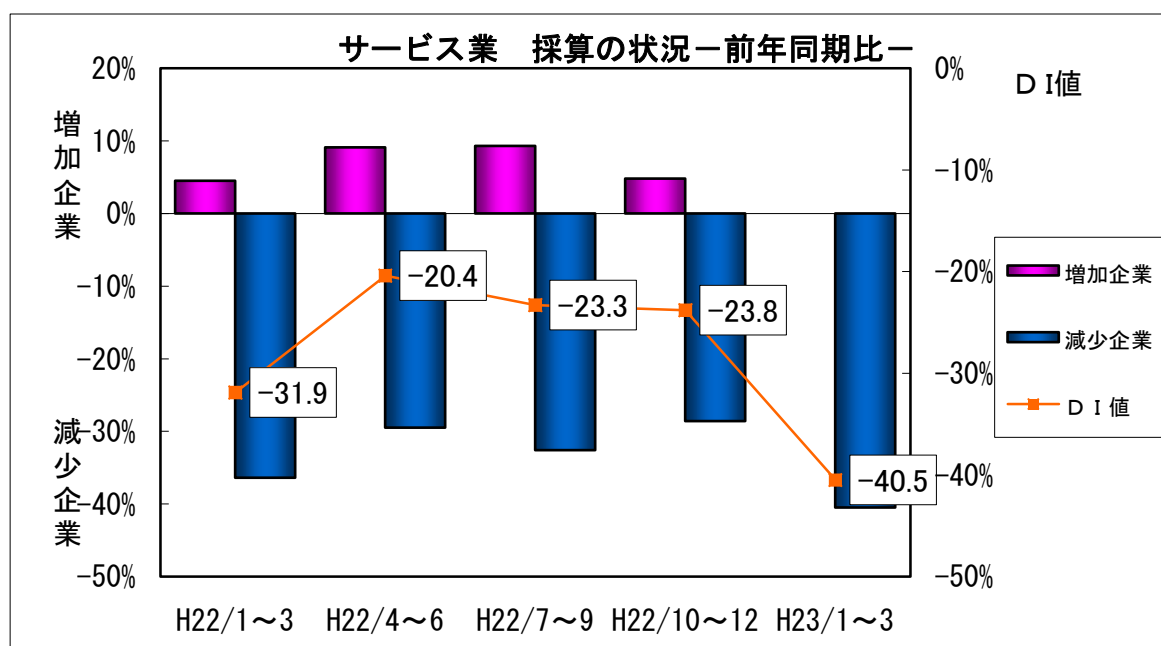
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス45.2。前期のマイナス25.0から20.2ポイントの下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス34.9と大幅な回復の見込み。



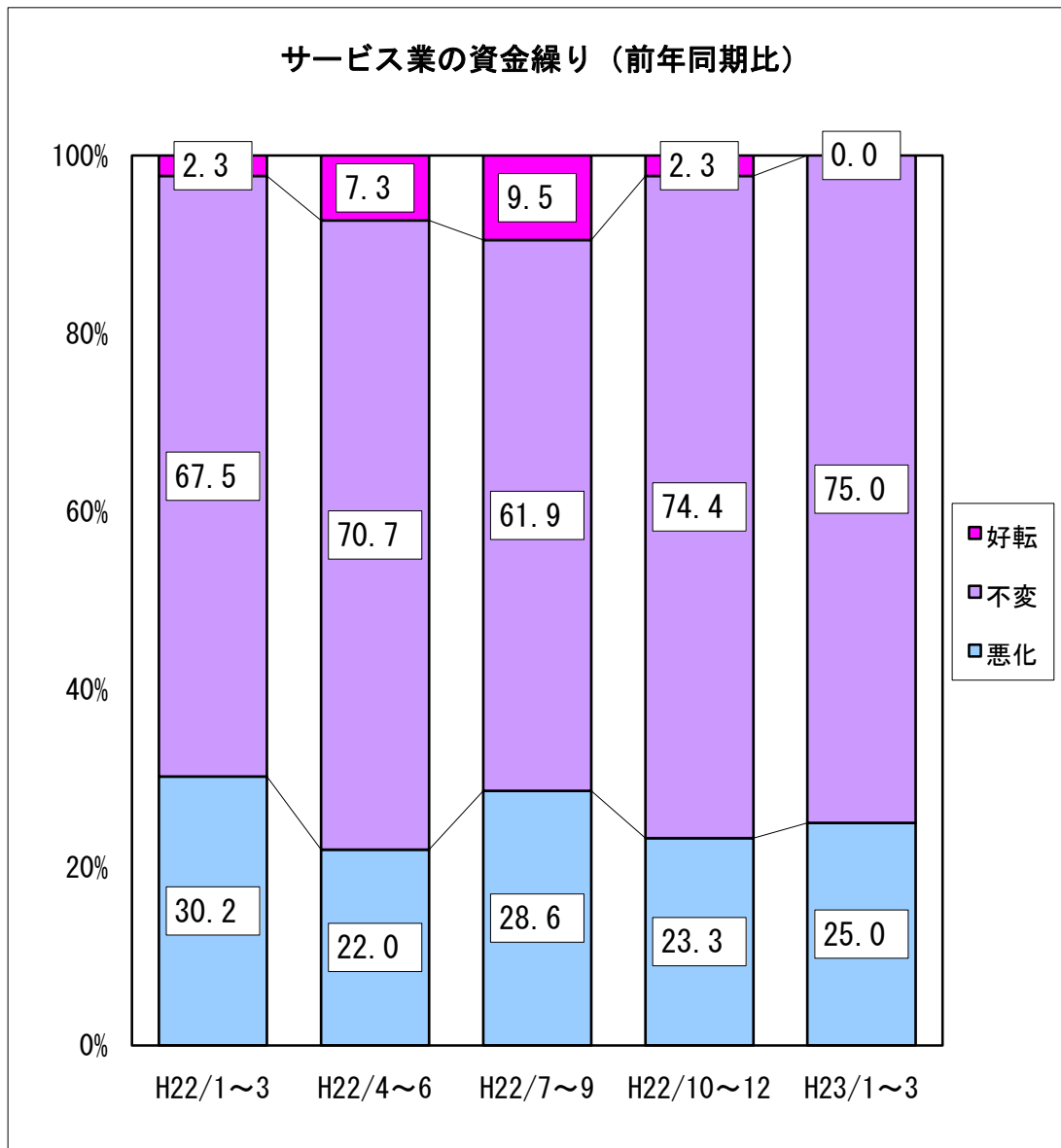
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス40.5。前期のマイナス23.8から16.7ポイント下降、大幅に悪化。来期見通しは、マイナス34.1と回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 25.0。前期のマイナス 21.0 から 4.0 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 22.0 と回復の見込み。

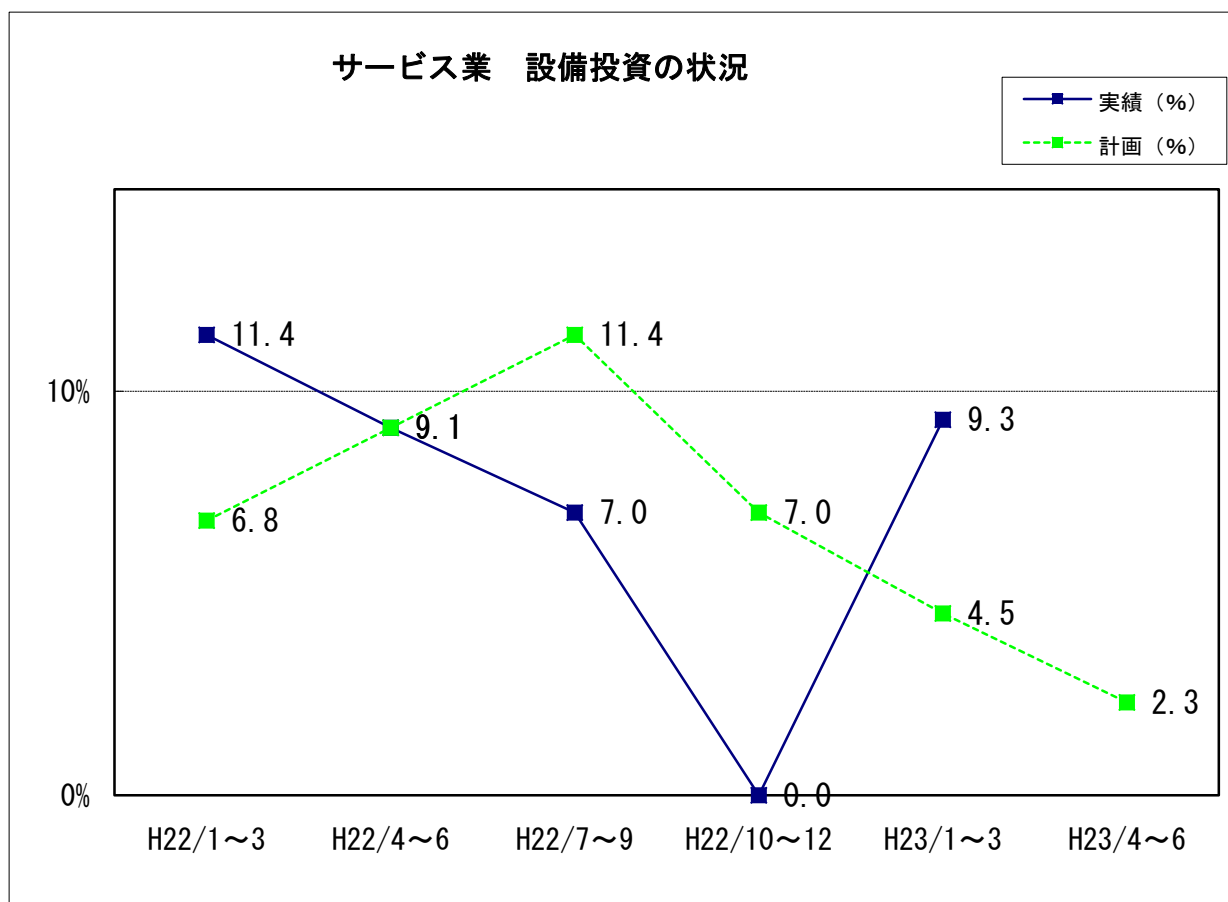


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施(実数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
今期実施(実数)	4	0	1	0	2	1	0	0	0	39
(%)	9.3	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	90.7
来期計画(実数)	1	0	0	1	1	0	0	0	0	42
(%)	2.3	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.7

今期設備投資を実施した企業は4社(9.3%)。前期(平成22年10~12月期)の実施企業0社より4社増加。来期は1社(2.3%)がサービス、車両・運搬具への投資を計画している。

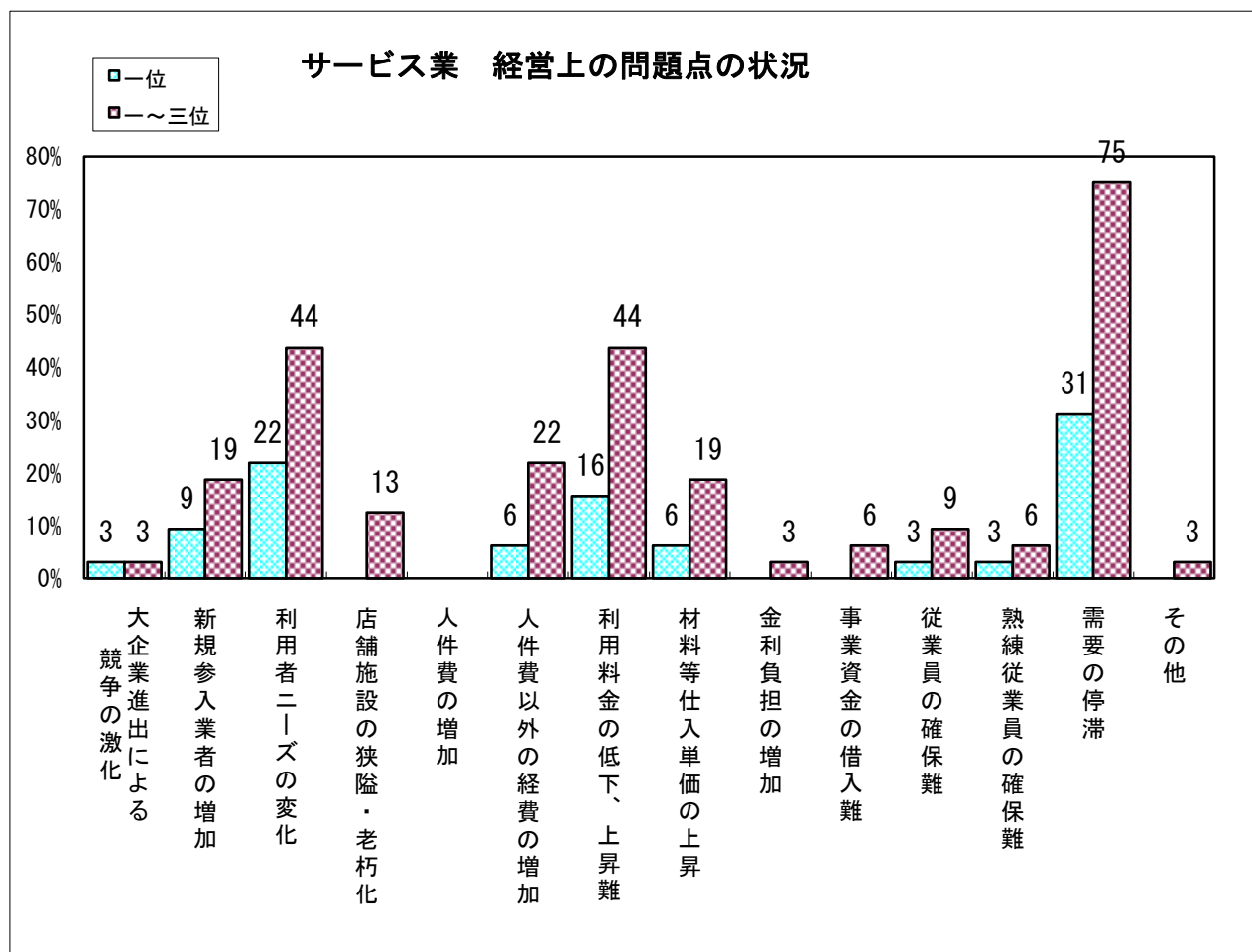


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 69.7%→今期 75.0%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 39.4%→今期 43.7%)
- ・ 「利用料金の低下・上昇難」 (前期 36.4%→今期 43.7%)
- ・ 「新規参入業者の増加」 (前期 18.2%→今期 18.7%)

となっている。



以上